（別添４）

大阪府泉佐野市
１人１台端末の利活用に係る計画

１．１人１台端末をはじめとするICT環境によって実現をめざす学びの姿

デジタル技術が飛躍的に発展し、すべての人がデジタル技術の恩恵を受けられ、一人ひとりが多様な幸せを実現できる Society5.0 が到来しようとしている中、学校教育は児童生徒が未来に向かって課題の解決に取組みながら、新たな価値を生み出すための土台をつくる大きな役割を担っている。

１人１台端末を使ったクラウドサービスの活用を前提とした通信ネットワークなどの ICT 環境を整備し、学びのツールとしてICTを活用することにより、多様な子どもたちの資質・能力を育成するための個別最適な学びと協働的な学びの実現をめざす。

【取組の進捗状況を測る指標】
・指標１「毎日、学校のタブレットＰＣを使っている。」
・指標２「タブレットPCを使うと、学習がわかりやすい。」

２．GIGA第１期の総括

本市では、令和２年度末に１人１台端末と校内ネットワーク環境の整備を完了し、多様な子どもたちの資質・能力を育成するための個別最適な学びと協働的な学びの実現をめざし、学習場面等でのICT活用の実践を積み重ねてきた。

現在、学校でも家庭でも、鉛筆やノートと並ぶ重要なアイテムとして１人１台端末の活用が進んできている大きな成果がみられる一方で、学校ごとの活用状況や頻度により、学校間格差が生じてきている課題がある。今後も市域全体で取組みを進めていく必要がある。

３．１人１台端末の利活用方策

GIGA 第１期での利活用により、１人１台端末は児童生徒の日常的な学びのツールとして定着しつつある。令和７年度に控える端末の更新を着実に進め、児童生徒の他律的な活用から自律的な活用にさらに深化させるとともに、教職員の働き方改革が進むよう、GIGA第２期では以下の方針に沿って市域全体で取組みを推進していく。

【めざす姿】
・子ども　すべての子どもが学びの主体者として、デジタルならではの強みを理解し必要に応じて効果的に活用することで、自分らしい学びを実現するとともに、多様な他者と協働しながら、粘り強く挑戦を続ける姿
・教職員　すべての教職員が子どもに丁寧に寄り添い、ICTの活用を通して主体的な学びに伴走するとともに、校務DXの実現による事務効率化と学校文化の変革をとおして、健康で心豊かな生活の中で自らも生き生きと学び続ける姿

【めざす姿の実現に向けた「６つの道筋」】
①デジタルならではの強みを生かした学習活動の充実
②デジタル社会のよき創り手の育成
③誰一人とり残さない、個に応じた指導・支援の充実
④教育データの利活用
⑤校務のデジタル化による働き方改革の推進、学校文化の変革
⑥安心で快適なICT環境及びサポート体制の整備